

科目名	経済学（マクロ）	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	長谷川 雪子		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-1-110002	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	この講義の目的は、高校数学を復習しながら①マクロ経済学の重要用語の概念を理解すること、②マクロ経済学の中から国民所理論の基礎を学ぶこと、③深刻な不況時における財政政策と金融政策の役割を、講義内容だけでなく練習問題を通じても理解することを通じ、経済問題への理解・認識を深めるとともに、問題解決能力、論理的思考力を高めていくことを目的とします。				
学修到達目標	マクロ経済の基礎用語・知識を理解したうえで、国民所得決定理論の仕組みを理解し、様々な経済現象をマクロの視野に立って考えることができる。また、この授業では扱うことのできない労働市場のマクロ経済分析、総需要・総供給分析に進むためのマクロ経済学の基礎を作ることができる。公務員試験（地方上級）を目指す学生にはその第一歩となる基礎的な知識・概念が身につく。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション マクロ経済学とは マクロ経済学の基礎概念
第2回	GDPとは（1）GDPの定義、三面等価の原則など
第3回	GDPとは（2）GDPの範囲、国内概念・国民概念、名目値・実質値など

第4回	消費と貯蓄の理論 消費の概要、消費関数、限界消費性向、平均消費性向、貯蓄関数など
第5回	企業の投資（限界効率仮説）
第6回	財政の仕組みと機能 政府の役割 税 国債 など
第7回	財市場の均衡（1） 有効需要の原理、均衡国民所得の決定、貯蓄のパラドックスなど
第8回	財市場の均衡（2） インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ、乗数理論と投資乗数
第9回	財市場の均衡（3） 租税乗数、均衡予算乗数の定理など
第10回	貨幣市場（1） 貨幣の定義、貨幣の機能、貨幣需要、
第11回	貨幣市場（2） 貨幣供給、ハイパワードマネー、貨幣乗数
第12回	貨幣市場（3） 貨幣量のコントロール、貨幣市場の均衡
第13回	I S-LM分析（1） 財市場の均衡とIS曲線の導出 財政政策とIS曲線のシフト

第14回	I S-L M分析 (2) 貨幣市場の均衡とLM曲線の導出 金融政策とLM曲線のシフト
第15回	I S-L M分析 (3) 財市場と貨幣市場の同時均衡、財政政策・金融政策の効果
第16回	定期試験

授業時間外の学習

【予習】時間・内容	2時間を要する。事前にWeb上で配布される講義資料を熟読する。
【復習】時間・内容	2時間を要する。講義後出される課題を解き、理解をすすめ、知識を定着させる。

成績評価

評価基準・方法	成績は課題と定期試験で判定する。定期試験 70% 課題 30% の割合で評価する予定である。 判定基準は本学の基準に従って行う。
フィードバック方法	毎回の課題は次回時間授業時に解説を行う、もしくは解答・解説を後日配布する。定期試験の点数分布や平均点は公表し、講評を加える。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	参考書 福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門 第5版』有斐閣（有斐閣アルマシリーズ）、¥2,346（税込）
受講上の留意点等	レジュメをポータルサイトにアップする予定ですので、事前に該当部分を読んでください。数学は基礎的な知識が必要となります。具体的には1次関数、連立一次方程式の知識が必要です。飲食禁止・私語厳禁です。原則として毎回課題を課します。ポータル上で提出する形態にしますので、必ず解いて〆切までに提出してください。
JABEE	